

平成29年度の主な事業・経費

定住・住環境対策として導入した置戸町森と住まいの支援事業、住宅改修奨励事業は、多くの町民の利用が見込まれることから、合わせて1,200万円を計上し、町内の住宅不足の解消を図るため、アパートなど民間賃貸住宅の建設に対する支援として2,040万円を計上しました。また、平成25年度から計画的にふるさと銀河線跡地に公営住宅8棟16戸を建設しましたが、引き続き市街地中心部への建設要望があることから、1棟2戸の建設経費を計上しました。

- ・置戸町森と住まいの支援事業 600万円
- ・置戸町住宅改修奨励事業 600万円
- ・置戸町民間賃貸住宅建設促進支援奨励事業 2,040万円
- ・公営住宅建設工事 4,030万円
- ・公営住宅外構工事 400万円



▲民間賃貸住宅の建設に対する支援を行います

地域公共交通対策として、町内を巡回するへき地患者輸送車の利便性向上のため、小型車両2台分の購入経費を計上しました。これにより、高齢や障がいにより通院や買い物が困難な方などの交通手段を確保し、生活環境の向上を図ります。

- ・地域間バス購入事業 800万円

児童福祉関係では、置戸町の自然豊かな環境で生まれ育ち、心やさしくたくましく成長した子どもたちの成長の証として、18歳の春にそれぞれの目標に向かい旅立つことをお祝いするため、祝い金を支給する事業として47万円を計上しました。

- ・18歳の春旅立ち応援事業 47万円

保健衛生関係では、各種検診や予防接種への助成、妊婦一般健康診査への公費負担や子宮頸がんなどの予防接種についても継続して行い、子どもを望む夫婦が不妊治療を行う際の経済的負担軽減を図るため、治療費の一部を助成する事業として、105万円を計上しました。また、関係医療機関と

の連携を強化、医療設備の充実を図るため、置戸赤十字病院へ9,618万円の助成を行います。

- ・不妊治療費助成事業 105万円

- ・置戸赤十字病院医療施設充実事業 9,618万円

農業関係では、道営事業として、継続して春日川東線の農道整備に2,540万円を計上しました。また、生産性の高い農業実現のため、農業用排水施設、区画整理などを総合的に実施する基盤整備事業に4,243万円を計上しました。

- ・農道整備特別対策事業 2,540万円

- ・道営農業競争力強化基盤整備事業 4,243万円

- ・公社営畜産担い手総合整備事業 870万円

- ・小規模土地基盤整備事業 300万円

造林事業として1億3,804万円を計上し、下刈りや除間伐などの実施により町有林の整備に努めます。民有林については、未来につなぐ森づくり推進事業に対し、民有林振興事業補助金として1,452万円を計上し、人工造林や除間伐を進め、豊かな森林の育成に努めます。

- ・造林事業 1億3,804万円

- ・置戸町民有林振興事業 1,452万円

商工関係では、省エネによる環境配慮や電気料のコスト削減のため街路灯のLED化を継続し、置戸市街地区44灯分を含め518万円を計上しました。また、空き店舗の改装及び既存の店舗改装事業には1,120万円計上し、過疎化による商店街の空洞化を防ぐとともに、商工業の活性化を図ります。

- ・置戸町街路灯設置事業 518万円

- ・置戸町美しい商店街奨励事業 500万円

- ・置戸町未来の起業事業 620万円

夏まつり関連では、おけと夏まつりが第50回の節目の年であることから、前夜祭への経費として350万円を増額計上しました。

- ・夏まつり記念事業に対する増額 350万円



▲50回の節目を迎えるおけと夏まつり